

競技注意事項

競技は、2024年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項に準じて行う。

1. 練習について

- 競技場南側の多目的広場は使用できない。また、競技の支障のない限り場内で行ってもよい。その場合は通告に従うこと。アップなどは原則、周回コースを使用すること。雨天練習場の使用は許可する。

2. 招集について

- 招集は「現地（スタート地点や競技場所）」で行う。
- 選手は、招集を受けないで出場することはできない。
- 招集時刻は、原則競技20分前開始10分前終了。
- リレー種目の招集については、清掃の時間に一齐に行う。集合場所は「正面スタンド前」。
- 出場種目が重なっている場合は、必ず代理を立てること。スタートの直前（自分の組の2つ前）までフィールドの競技を続けること。

3. 競技について

- 本大会のトラック競技はすべて電気計時とする。ただし機器の故障があったばあい等、手動計時を行う場合もありうる。
- トラックの種目に出場する場合は右腰やや後方に、各自が用意した腰ナンバーカードをつけること。
- 800m、1500m、3000mの種目に出場する場合は、主催者が用意した腰ナンバーカードをつける。
- トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左より右へ、ついで下段とする。決勝の組み合わせは公正に抽選し決定する。なお、編成した名簿は掲示板に掲示する
- リレーのオーダー用紙は招集完了1時間前までに1部本部に提出すること。紙は朝の打ち合わせ時に各校監督に配布する。
- 走高跳のバーの上げ方は次の通りとし、以下3cmきざみで上げていく。
男子) 1m20 (練習) 1m25, 1m30, 1m35, 1m40, 1m45, 1m50, 1m55, 1m60, 1m65・・・
女子) 1m05 (練習) 1m10, 1m15, 1m20, 1m25, 1m30, 1m35, 1m40, 1m45・・・
- 走高跳以外のフィールド種目において、決勝出場者は記録の上位8名とする。
- その他問題点が発生すれば審判長と各校監督の協議の上、処理するものとする。
- 決勝進出が同記録の場合は1000分の1まで読み取り進出者を決定する。
- ハードル設置 1, 2台目 (朝桜) 3, 4台目 (聖徳) 5, 6台目 (能登川)
7, 8台目 (玉園) 9, 10台目 (日野)

4. 表彰について

- 決勝1位の選手には賞状が与えるが表彰式は行わない。

5. その他

- 開門 (7:30) までは勝手に競技場内に入らないこと。
- 貴重品の保管は各校で十分注意すること。
- スタンド、更衣室等は常に清潔の保持に努めること。
- 競技場内以外のスパイクでの通行を禁止する。
- 正面スタンド、館内にある非常栓、非常ボタン等には必要以外触れないこと。
- ゴミは各校でしっかり後始末をすること (各自で持ち帰ること)
- 立入禁止区域内には入らない。移動は、競技場の外に回ること
- 競技場の準備、後片付け
 (日野) 準備 スターター (聖徳) 後片付け メインスタンド
 (竜王) 準備 トラック (朝桜) 後片付け トラック
 (朝桜) 準備 幅跳び
 (玉園) 準備 投てき
 (能登川) 準備 高跳び